

ACLSニュース

- 情報生命博士教育院は、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム平成23年度採択プログラム中間評価においてA評価をいただきました。複合領域型(生命健康)のカテゴリの中では最高の評価となります。
- ACLS 課程参加学生3名の活躍が、平成27年4月6日に開催された中央教育審議会の資料の中で紹介されました。育志賞受賞(ニューズレター第5号に掲載)
 - ・大上雅史さん(情報理工学研究科) ビジネスコンペ等の活躍(本号で紹介)
 - ・安田翔也さん(総合理工学研究科)
 - ・水口佳紀さん(生命理工学研究科)
- ACLS の記事が出版物に掲載されました。
 - ・AERA(2015年2月9日号)
 - ・日本経済新聞 朝刊(2015年3月2日発行)
 - ・科学新聞(2015年3月6日発行)
 - ・日刊工業新聞(2015年4月20日発行)
 - ・月刊技術士(2015年5月1日発行)
- 当プログラムのプログラム担当者である大隅良典教授(フロンティア研究機構)が2015年ガードナー国際賞を受賞されました。
- 当プログラムの課程参加学生である安尾信明さん(情報理工学研究科)が神戸市で開催された日本薬学会第135年会において優秀発表賞を受賞しました。(発表タイトル「Structure-based

drug design による新たな抗トリパノソーマ薬候補の創出)」

- 3月12日(木) 13日(金)、ホテル KSP (川崎)において平成26年度FD研修合宿を行いました。事業の振り返りや今後の改善点、展望について議論するとともに、学生に提供している ACLS 独自の英語教育プログラムを全員で受講体験しました。
- 4月27日(月)、すずかけ台キャンパスにおいて春の ACLS 交流会を開催しました。新しく参加した M1 学生も加わり、先輩や教員スタッフと語り合う楽しい会となりました。
- 5月16日(土) 17日(日)、すずかけ祭で模擬店を出店しました。留学生も積極的に陣頭に立ち、一般の方々にも ACLS の活動を知っていただくよききっかけとなりました。まぜごはん、すいとん、わたあめ、写真館が今年も大変好評でした。
- 8月5日(水)、すずかけ台キャンパスにおいて Global Communication Contest 2015 を開催します。
- 10月24日(土) 25日(日)、新宿において博士課程教育リーディングプログラムフォーラム 2015 が開催されます。全国のリーディング学生や関係者が集結し、様々な課題について議論や発表を行います。



人事異動

教員採用

H27.4.1 特任助教 矢野貴久

教員退職

H27.3.31 リーディングプログラム教員 Diana Kaz

事務職員採用

H27.4.1 リーディングプログラム事務員 中西彩恵子

事務職員退職

H27.2.28 リーディングプログラム事務員 中村綾子

H27.6.30 リーディングプログラム事務員 小川典子

リーディング大学院修了式の開催

2015年3月26日(木)、大岡山キャンパスにてリーディング大学院修了式(4教育院による合同開催)がとり行われました。ACLS から誕生した3名の修了生は、三島学長や教育院長からの祝辞を真剣な表情で聞き入っていました。その後、修了生1人ずつが、これまでの苦労や感謝とともに、未来への希望を力強く語ってくれました。今後の活躍が期待されます。



左から修了生の梶谷さん、今村さん、鈴木さん。ACLSの教員・事務学生からのお祝いメッセージを寄せ書きにしてプレゼントしました。

梶谷 嶺(生命理工学研究科修了 博士(理学) → 東京工業大学 助教)

ACLSの先生や事務の皆さんはとても親しみやすく、また多くの異分野の学生とも交流することができました。研究室での活動が多い博士課程において、視野を広める貴重な機会となりました。私はM2後半からの編入でしたが、後輩たちはより長く所属していますので、今後もますます有望な人材が輩出されると確信しております。

今村元紀(生命理工学研究科修了 博士(理学) → 金沢大学 博士研究員)

夏の学校の運営(2012年実行委員長)、異分野学生とのグループワーク、インターンシップ、英語教育など、どれも社会に出て活躍するための礎になりました。この貴重な機会を与えてくださった ACLS の先生やスタッフの皆様に感謝しています。今後もグローバルに活躍できるよう「Cross X Challenge」していきます。

鈴木脩司(情報理工学研究科修了 博士(工学) → 株式会社富士通研究所)

ACLSに参加することで海外インターンシップなどの貴重な経験を得ることができました。また、自分の分野以外の学生や先生とも交流をすることができ、違った視点の意見を数多く聞くことができました。ACLSの関係者の皆様には大変感謝しています。これらの経験を生かして就職後も努力していきたいと思っています。

編集後記

ACLSは中間評価を終え、折り返し地点を通過しました。この春、多方面に活躍が期待される人材を送り出したことは私たちの自信にも繋がっています。そして今、私たちの想像と期待をはるかに超えた活躍をみせてくれる学生が次々と現れています。ACLSはこれからも学生の可能性を刺激し、学生から刺激をもらい、共に成長していきます。(YK)



ACLS News Letter 第9号(2015年7月31日発行)

東京工業大学 情報生命博士教育院
(文部科学省 平成23年度「博士課程教育リーディングプログラム」採択)
すずかけ台事務室
〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町4259, J3-141 (J3棟407号室)
Tel:045-924-5827 Fax:045-924-5930
office@acsls.titech.ac.jp http://www.acsls.titech.ac.jp/

ACLS News Letter

東京工業大学 情報生命博士教育院
Education Academy of Computational Life Sciences (ACLS)
(文部科学省 平成23年度「博士課程教育リーディングプログラム」採択)



vol.09
2015.7

contents

- 1— 巻頭言〜グローバル理工人の能力を磨け!
- 2-3— 世界にはばたけ グローバルリーダーへの道
- 3— 学生体験記
- 4— ACLSニュース、人事異動、トピックス

巻頭言

〜グローバル理工人の能力を磨け!



三原 久和
情報生命博士教育院 プログラム責任者
生命理工学研究科 研究科長

関根光雄先生を引継ぎ、平成27年4月から大学院生命理工学研究科長として情報生命博士教育院プログラム責任者を務めることになりました。生物プロセス専攻の三原です。平成23年から開始され、秋山教育院長をはじめ運営委員・幹事・メンター等の先生、事務員の方々の努力により発展してきている情報生命博士教育院 ACLS の責任者として着任したことに、気が引き締まる思いです。よろしくお願いたします。

平成23年に開始された博士課程教育リーディングプログラムである本教育院 ACLS は、情報科学と生命科学の両方の

能力をΓ型に備えた国際的なリーダーとなる博士人材を育てるものです。4年間で多くの ACLS のイベントが開催されていますが、そこでは学生達の高い能力とその多様性を感じ取ることができます。これは情報と生命に関する多様なカリキュラム、異分野の学生が取り組むグループ型問題解決演習、プロフェッショナルな講師による異文化コミュニケーション科目、さらには学生により企画された国際夏の学校、博士後期課程での海外協力機関インターンシップなど、ACLS の特徴的なすばらしいカリキュラム群を学生達が修学してきているからだと思います。このような大学院教育は、研究室での実験生活のみでは実施することができない部分であり、これにより学生達は国際的に通用する幅広く高度な思考能力や実践力を獲得しています。ACLS も中間評価を経て後半戦に突入していますが、関連3研究科の学生指導教員の先生方にも今一度この ACLS の目標と教育思想を再認識していただき、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

第7号のニューズレターで中村聡先生が紹介されているように、平成28年度から東京工業大学は、教育改革により大

きな大学改革を実行します。学部と大学院を統合して学院になり、現45専攻が6学院19系へ再編されます。また2学期セメスター制から4学期クォーター制への変換や学部修士や修士博士の一貫教育などグローバル時代に対応した教育システムに移行します。詳細は大学 web (<http://www.titech.ac.jp/education/reform/>) を参照してください。ACLS の教育については、3研究科の組織が変わってもこれまでと同じように実施されます。しかしながら、時間割や他の学院との関連科目について変化があると思いますので、注意してください。

さて今年の「国際夏の学校2015」も、英国オックスフォード大学において海外開催されます。参加する24名の東工大学生諸君、12名の海外大学学生と英国の伝統的なキャンパスでの活動により国際力をさらに磨いてきてください。普段と違う土俵での経験は、何倍もの経験値を生み出してくれるでしょう。潤沢な支援など ACLS のすばらしい教育環境のもとで、学生達が自主性を磨き、グローバル理工人としての能力をどんどん伸ばしていくことを期待しています。

世界にはばたけ



グローバルリーダーへの道

学生の活躍紹介

未来のビジネスリーダー誕生!

ACLS から未来のビジネスリーダーが誕生しました。所属する研究科も異なる2人は ACLS で出会い、実行委員長・副委員長として昨年の夏の学校を成功に導き、大学の枠を超えてチームを結成するなど積極的に努力と挑戦を続けてきました。そしてこの春、国内のビジネスコンテストでの受賞を重ね、ついにベンチャー起業(東工大発ベンチャーに認定)を達成しました。



写真① バイオサイエンスグランプリ「最優秀賞」これでベンチャー起業に大きく近づきました。チームには慶應大の福田真嗣特任准教授と東工大 ACLS プログラム担当教員の山田拓司講師(左端)も参加しました。



写真② エッジイノベーションチャレンジコンペティション「Gold Award」チームは学内外のリーディング学生と結成しました(東工大 AGL、早大、東大)。全国リーディングフォーラムで知り合った仲間です。



左から水口さんと安田さん
昨年の夏の学校実行委員会結成時

水口佳紀 生命理工学研究科 D1

様々なことに挑戦することで、様々な出会いがあり、その出会いを通して、一人では決してできない未来への実現に向けた挑戦が始まりました。私たちに多様なキャリアパスがありますが、次世代を担う学生の力で、日本そして世界を共に盛り上げていきたいなと思います。

安田翔也 総合理工学研究科 D1

これは、ACLS という“セーフティネット”に支えられ、失敗を恐れずにチャレンジし続けられた結果のひとつです。とは言え、まだ一発屋に過ぎず、目指す人材には程遠いでしょう。ACLS を修了するまでに、より良い目・良い腕を養い、人や社会に働きかける力や効率というものを高めています。

2015年1月 「第1回バイオサイエンスグランプリ」にて最優秀賞を受賞(写真①)

2月 文部科学省事業「エッジイノベーションチャレンジコンペティション 2015」にて Gold Award を受賞(写真②)

3月 腸内環境デザインのバイオベンチャー「株式会社メタジェン」を起業

ACLS では、従来型のアカデミアや産業界だけではなく、ベンチャーで社会変革をもたらすようなユニークな人材の養成も目指しています。「ベンチャー起業特論」の授業や「国際ビジネスプランコンテスト」など、より実践的なビジネスプラン作成の機会を学生に提供し、産業界若手メンター教員にはベンチャー経営者を加えるなど、アントレプレナーシップ(起業家精神)教育にも力を入れています。

第2回東京工業大学4教育院合同学生フォーラム開催レポート

産業界に向けて自己アピール

3月6日(金)東工大キャンパスイノベーションセンター(田町)において、第2回東工大4教育院合同学生フォーラムを開催しました。各教育院に所属する博士課程学生一人一人が、自身の研究活動や教育院で培った能力などをプレゼンやポスター、交流会で直接産業界の方に自己アピールしました。会場があふれるほどの企業の皆様にご参加いただき、リーディング学生への注目度の高さを感じました。



北野翔平 生命理工学研究科 D2

初めて4教育院合同フォーラムに参加しました。3分間の自己アピールは初体験ということもあり緊張しましたが、会場内を笑わせることもできたので個人的には満足しました。また企業の皆様と話したことで、博士課程学生はアカデミックな研究以外にも需要があると感じました。一般的に企業は博士課程学生の採用に乗り気ではないといわれていますが、全ての企業が決してそういうわけではないということを実感することができました。

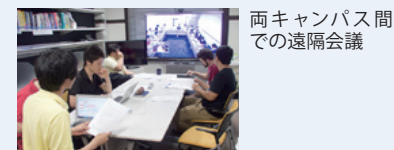
速報 夏の学校2015実行委員会日々活動中!

日程: 8月30日(日) - 9月6日(日)
場所: オックスフォード大学(イギリス)

安尾信明 実行委員長 情報理工学研究科 M2

1か月後に迫った「夏の学校2015」は、実行委員会によって着々と準備が進められています。

6月17日の説明会では、各委員会のリーダーがイベントの内容やグループの役割について参加する学生に説明しました。夏の学校当日に向け、全員の士気がさらに高まってきました。



両キャンパス間での遠隔会議



6月17日(水)の説明会の様子

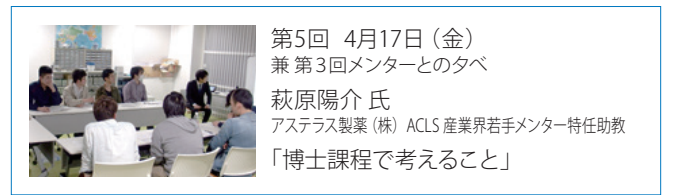
「博士が活躍する社会」を実感! ACLS グローバル・キャリアセミナー

国際機関やシンクタンクなどさまざまなフィールドで活躍する博士号取得者を講師にお招きし、「どのような人材が求められているか」、「博士課程時代に何を学ぶべきか」、「社会に出てからどのようにキャリアを形成していくか」をテーマに対話形式で行うキャリアパス指導が ACLS グローバル・キャリアセミナーです。

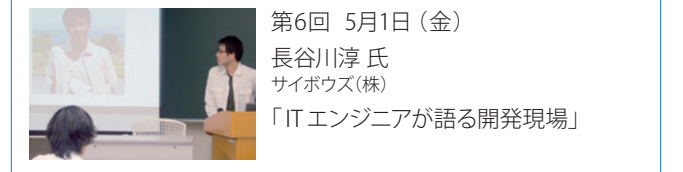
長谷川智也 生命理工学研究科 D2

これまでに2回、グローバル・キャリアセミナーの講義を受けました。どちらの先生も博士課程を修了されており、現在、博士課程に所属する自分としては、とても親近感をもって講義を受けることができました。

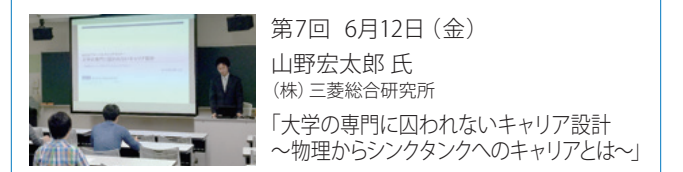
理系の博士号を取得された2人の先輩が、1人はコンサルティング企業、もう1人は製薬企業という全く異なる業界で働いていることに驚くと同時に、自分の可能性をもう一度見直す大変良い機会になりました。



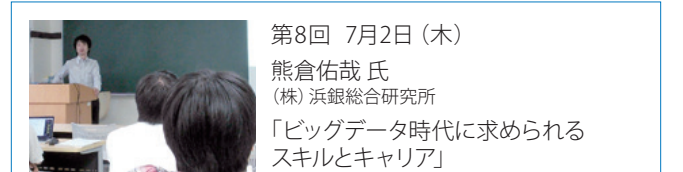
第5回 4月17日(金) 兼第3回メンターとのタベ
萩原陽介氏
アステラス製薬(株) ACLS産業界若手メンター特任助教
「博士課程で考えること」



第6回 5月1日(金)
長谷川淳氏
サイボウズ(株)
「ITエンジニアが語る開発現場」



第7回 6月12日(金)
山野宏太郎氏
(株)三菱総合研究所
「大学の専門に囚われないキャリア設計 ~物理からシンクタンクへのキャリアとは~」



第8回 7月2日(木)
熊倉佑哉氏
(株)浜銀総合研究所
「ビッグデータ時代に求められるスキルとキャリア」

学生体験記

本格的なアントレプレナー(起業家)教育を体験 AUTM 2015 Annual Meeting 2月22日(日) - 25日(水) ニューオリンズ(アメリカ)

AUTM (Association of University Technology Managers) は、米国の大学技術移転関係者によって設立された組織で年次大会には世界中の技術移転関係者が参加します。ACLS から5名の学生が参加し勉強してきました。



Aleksandar Zdravković 生命理工学研究科 M2

Attending the AUTM annual meeting for the first time was a great opportunity to get in touch with many tech transfer people and venture capitalists. The whole event was very valuable for me. I was able to broaden my perspective in terms of technological innovation on both science and especially non science (business/legal) part, as well as learn a lot about startups and funding through various short courses and other peoples shared experience. Tech transfer experience is summed up intensely in this kind of event and one can really gain more insight into many things related to it by visiting.

ノーベル賞受賞者に会ってきました Nobel Workshop 5月4日(月) - 8日(金) チャルマース工科大学(スウェーデン)

13名のノーベル賞を受賞された先生と世界を牽引している約40名の研究者が一堂に会するノーベルワークショップが開催されました。この貴重な会議に、ACLSから2名の学生が参加することができました。



館野峻平 生命理工学研究科 D1

このワークショップはノーベル賞を狙えるトップリーダーの先生による講演会で、研究への熱意を直に感じ、インパクトのある研究のヒントを得られました。あらかじめ背景知識を勉強していったにも関わらず、自分の専門分野と異なる分野の講演を理解することができなかったのが非常に悔しく、英語や他分野に関する知識をもっと身につける必要性を感じました。また、先生方と自由にお話できる機会があり、青色LEDを発明された中村修二教授をはじめとした多様な背景をもつ先生から生体分子に関する研究の情報技術的な切り口について意見をいただくなど、直接アドバイスを受けることができ、非常に有意義な時間でした。